

## アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月2日

### 2003年8月31日現在：

好天続きで小麦の収穫全州にて略終了となった。北部地区の海拔の高い圃場に収穫が残るのみとなった。気温は平年を2~4度上回って推移した。降水は東部地区、南西部の一部に有ったのみである。前週の州平均農作業日数は6.7日（前週：6.6日）であった。土壌水分は多少前週より改善した。

冬小麦の収穫は略完了した。平年より多少早い進捗であった。

春小麦の収穫も例年より早く進み、8月31日現在全州の84%で収穫が完了した（昨年：79%、平年：75%）。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では別表の通り。冬小麦の単位収量は7月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、春小麦の単位収量は3bu/a落ち63.0bu/acreとなった。高温・乾燥が単収を落とす結果となった。

### Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	33	43	24	0
Last week (%)	33	46	21	0

### 灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	16	22	37	24	1

### 小麦進捗状況：8月31日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	8/31	A	Ave	8/31	A	Ave	8/31	A	Ave	8/31	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	86	66	67	100	100	96	88	93	91	84	79	75
Winter Wheat Harvested (%)	98	89	90	100	100	100	100	99	99	99	93	93

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

### 8月1日付け農務省発表小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040
Spring	510	460	65.0	66.0	63.0	33,150	28,980

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)